

河瀬中学校・高校の先生おすすめ本を紹介！！

図書館にある本には★印を付けています

中学校 藤田先生おすすめ！

『国盗り物語』

司馬遼太郎著

書誌情報詳細サイト↓

<https://www.hanmoto.com/bd/i/sbn/9784101152042>

- いつ頃読みましたか？

今読んでいます。(残り僅か)

図書館にある『司馬遼太郎全集 10巻と11巻』で読めます！

- どんな内容ですか？

美濃の^{まむし}蝮と呼ばれた齊藤道三が、当時背景を何も持たない一人の身から美濃の王にまで登りつめる過程と道三が成し遂げられなかった全国統一の野望を、義理の息子である織田信長が押し進めていく、超大作。道三を師と仰ぎ、道三自身も秘蔵っ子としながらも、運命に翻弄される光秀。司馬史観による、信長と光秀の関係性も必見。

- 感想・おすすめポイント

歴史好きな人、そうでない人、どちらにもおススメ。大河ドラマ「麒麟がくる」と比較してもおもしろそう。

中学校 原田先生おすすめ！

“国語”のおすすめ本！



『中学入試国語のルール』

石原千秋著

書誌情報詳細サイト↓

<https://www.hanmoto.com/bd/i/sbn/9784062879354>

- いつ頃読みましたか？

4月～

- どんな内容ですか？

中学国語を学ぶ上で必要な知識、法則が分かる本！

- 感想・おすすめポイント

中学生・高校生でも、ためになります。「国語」が苦手な人にもオススメです！

中学校 田口先生おすすめ！

“数学”のおすすめ本！

『面白くて眠れなくなる数学』

桜井進著

書誌情報詳細サイト↓

<https://www.hanmoto.com/bd/i/sbn/9784569791173>

- いつ頃読みましたか？

2年ほど前

- どんな内容ですか？

数学の偉人達のエピソードや、身近な数字の謎について

- 感想・おすすめポイント

少し難しい内容もありますが、いろいろ新しいことを知ることができる！数字のドラマが混じっていたりしておもしろいです。



中学校 池田先生おすすめ!

『愛の妖精』

ジョルジュ・サンド著

書誌情報詳細サイト↓

<https://www.hanmoto.com/bd/i/sbn/9784122045439>

- いつ頃読みましたか?

1回目：学生のころ 2回目：令和2年4月

- どんな内容ですか?

19世紀のフランス。周囲に悪態をつき、村中のみんなからとても嫌われていた少女ファデット。ある日、村の男子ランドリーは、そんなファデットが実はとてもきれいな心の持ち主だということに気づく。彼はそれ以来、急激に彼女にひかれていく。そしてランドリーに理解されたことで、嫌われ者だったファデットにも、劇的な変化が起こり始める。

- 感想・おすすめポイント

学生時代に読み衝撃を受けた。今回△十年ぶりに読み返しましたがやはり名作でした。「人間大事なのは心」ということを教えてくれる。読んでみると自分の心まできれいになっていく気がします。物語の終盤、ファデットがランドリーにある事を打ち明けますが、そこがこの小説のハイライト。若い時に読んでおきたい一冊。タイトルで疎遠するのはもったいない。なお、作者のジョルジュ・サンドは、ショパンの恋人だったことでも有名です。

高校 石原先生おすすめ!

『地獄の楽しみ方 17歳の特別教室』 京極夏彦著

書誌情報詳細サイト↓

<https://www.hanmoto.com/bd/i/sbn/9784065173848>

- いつ頃読みましたか?

3月頃

- どんな内容ですか?

京極さんが、講演でお話された内容（17歳たちへ、生き方を）を文字におこしたものの。

- 感想・おすすめポイント

斜に構えている人も、希望にあふれている人も、上手に自分や人と付き合っていくための参考になる。
皮肉やユーモアにあふれていて面白いです。

高校 杉浦先生おすすめ!

『古代への情熱』

ハインリヒ・シュリーマン著

書誌情報詳細サイト↓

<https://www.hanmoto.com/bd/i/sbn/9784003342015>

- いつ頃読みましたか?

中学校3年生の頃に初めて読みました。

- どんな内容ですか?

トロイア遺跡などの古代ギリシャを発掘したドイツ人考古学者、シュリーマンの自伝です。幼少の頃に読んだ「イリアス」にあこがれ、トロイアの実在を証明する夢を追い続け実現する彼の人生が描かれています。

- 感想・おすすめポイント

夢や目標を常に忘れず追い続け、実現する彼の姿に感動しました。また彼は多くの言語を習得したと言われています。彼のどのように多数の言語をマスターしたのか、その勉強法も紹介されているので、歴史や言語に興味がある人はぜひ手にとって読んでみてください!

高校 齊内先生おすすめ！

『すべてがFになる』

森博嗣著

国立国会図書館サーチ ↓

<https://iss.ndl.go.jp/books/R10000002-I000002742283-00>

- いつ頃読みましたか？

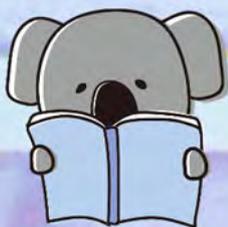
大学生の頃、友達に勧められて読みました。

- どんな内容ですか？

名古屋にある大学を舞台にしたミステリー小説です。シリーズ物で、これはその第1巻に当たります。謎解きの舞台は孤島だったり大学の研究室だったり街中だったり、様々です。ほとんどの場合、密室が登場します。アニメ化もされているので、知っている人も多いかも。

- 感想・おすすめポイント

ミステリーとしても優れているのですが、学生たちの生活の様子やキャンパスの雰囲気がリアルに描かれており、青春小説としての趣があります。登場人物たちの何気ないセリフが、特に学問や研究に対する考え方が、個人的にとっても共感できます。高校生のときに読むと、少し難しいと感じるかもしれませんが、皆さんが大学などに進学すればぜひ読んでほしいです。



高校 八田先生おすすめ！

『バカの壁』

養老孟司著

書誌情報詳細サイト ↓

<https://www.hanmoto.com/bd/isbn/9784106100031>

- いつ頃読みましたか？

昨年の秋ごろに読んでいたかなと思います。きっかけは、「平成で1番売れた新書」という本の帯を見て、でした。

- どんな内容ですか？

解剖学者・東京大学名誉教授である、著者の養老孟司さんによって、2003年に出版された大ベストセラー作品。「話せばわかる」は大嘘、「わかっている」という怖さなど、これまでの当たり前が揺さぶられるような見出しが並んでいます。知らず知らずのうちに築いていた、私たちを取り囲む壁について、理解することができるかも！？

- 感想・おすすめポイント

本書の第四章に、「私は私、ではない」という項があります。そこから次の文章を引用します。「一般に、情報は日々刻々変化しつづけ、それを受け止める人間の方は変化しない、と思われがちです。情報は日替わりだが、自分は変わらない、自分にはいつも「個性」がある、という考え方です。しかし、これもまた、実はあべこべの話です。」

高校 吉田先生おすすめ！

『竜馬がゆく』

司馬遼太郎著

書誌情報詳細サイト ↓

<https://www.hanmoto.com/bd/isbn/9784167105679>

- いつ頃読みましたか？

高校2年生

“日本史”
のおすすめ本！

- どんな内容ですか？

土佐の郷土（身分の低い武士）坂本竜馬が世界に目をひらき、大政奉還に貢献する痛快な物語。

- 感想・おすすめポイント

一人の人間にこんな仕事ができるのか、と生き方を考えなおすきっかけになった。



司書 森本からも一冊

★ 『線は、僕を描く』

砥上裕將著

書誌情報詳細サイト↓

<https://www.hanmoto.com/bd/isbn/9784065137598>

- いつ頃読みましたか？

4月（ついこの間読みました。）

- どんな内容ですか？

大学生の青山は2年前に両親を事故で亡くし、悲しみの中で生きていた。ある日、有名な水墨画家の湖山先生に出会い、弟子になるよう誘われ、水墨画の道へ。そして、先生の孫娘・千瑛と次の展覧会で作品を勝負することになり…。

- 感想・おすすめポイント

青山は水墨画の題材となる花を何度も描きますが、満足する作品ができず、スランプに陥ります。しかし、先生から「花に教えを請え」と言われ、花を違う角度から見ることで、作品に命が吹き込まれるように。物事を別の角度から見てみることの大切さが分かります。また、水墨画が上達するにつれて、青山の閉ざされていた心が開き始めます。心情の変化について丁寧に描かれた、爽やかな感動小説です。

おすすめ本で図書館にない本は、今後配架する予定です！

いつ学校が始まるのか…、部活ができるのか…、色々と不安に思う人がいると思います。

ですが、絵本作家の五味太郎さんは、「休校は、チャンスだぞ」、「本当に考える時期」（朝日新聞朝刊 2020/04/14）と言っています。この休校期間が有意義な期間になるよう、個々人で考えて過ごしてほしいと思います。

ですが、まずは“健康第一”です！

図書館はしばらく閉館ですが、手元にある本や、電子書籍などを活用して、ぜひ読書をしてみてください！

